

製品名: Eph 受容体 B3 (8N7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10512**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:20-1:50
分子量	110kDa

抗原情報

遺伝子名	EPHB3
別名	Cek10; EK2; Embryonic kinase 2; ephb3; ETK2; hEK2; Mdk5; Sek4; TYRO6;
遺伝子 ID	2049.0
SwissProt ID	P54753
免疫原	ヒト Eph 受容体 B3 の合成ペプチド

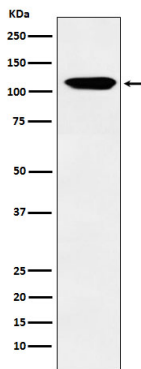
背景

エフリン B ファミリーメンバーの受容体。エフリン B1 および B2 に結合します。隣接細胞に存在する膜貫通型エフリン B ファミリーリガンドに無差別に結合し、隣接細胞への接触依存的な双方向シグナル伝達を引き起こす受容体チロシンキナーゼです。受容体下流のシグナル伝達経路は順方向シグナル伝達と呼ばれ、エフリンリガンド下流のシグナル伝達経路は逆方向シグナル伝達と呼ばれます。一般的に、EPHB2 と重複した機能を持ちます。EPHB2 と同様に、発達期の軸索誘導において機能し、例えば大脳皮質の側頭葉間の 2 つの主要な半球間接続である脳梁と前交連を形成するニューロンを制御します。軸索誘導における役割に加え、他のエフリン B 受容体と連携して、樹状突起棘の発達と成熟、そして興奮性シナプスの形成において重要な役割を担っています。細胞の移動と配置の制御を通じて、発達の他の側面も制御します。これには、例えば血管新生、口蓋の発達、胸腺上皮の発達などが含まれます。EFNB2/EPHB3 複合体を介した順方向および逆方向のシグナル伝達は、尿道を管状化し総排泄腔を隔てる細胞の移動と接着も制御します。さらに、腸管上皮の分化においても重要な役割を果たし、陰窩において分化細胞から前駆細胞を分離します。

研究分野

軸索ガイダンス;

画像データ



MOLT4 細胞溶解物中の Eph 受容体 B3 発現のウェスタン ブロット解析。